

平成 17 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名 株式会社九州親和ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 小田 信彦

平成 18 年 3 月期 中間期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 5 月 25 日に公表いたしました平成 18 年 3 月期中間期の当社および当社の子会社である株式会社親和銀行の業績予想の修正を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 3 月期 中間期業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日）

【株式会社九州親和ホールディングス】

（単位：百万円）

	連 結			単 体		
	経常収益	経常利益	中間純利益	営業収益	経常利益	中間純利益
前回公表予想(A)	32,100	4,200	2,300	400	78	45
今回修正予想(B)	42,200	7,700	4,900	403	107	59
増減額(B-A)	10,100	3,500	2,600	3	29	14
増減率(%)	31.4	83.3	113.0	0.7	37.1	31.1
平成 17 年 3 月期中間期実績	34,608	2,849	2,993	240	69	71

【株式会社親和銀行】

（単位：百万円）

	連 結			単 体		
	経常収益	経常利益	中間純利益	経常収益	経常利益	中間純利益
前回公表予想(A)	32,300	4,400	1,400	31,900	4,500	1,500
今回修正予想(B)	42,000	7,400	4,600	41,600	7,300	4,600
増減額(B-A)	9,700	3,000	3,200	9,700	2,800	3,100
増減率(%)	30.0	68.1	228.5	30.4	62.2	206.6
平成 17 年 3 月期中間期実績	35,640	3,899	2,899	35,226	3,873	3,018

2. 修正の理由

(1) 当社（単体）

経費削減により、経常利益および中間純利益が増加する見込みです。

(2) 親和銀行（単体）

不良債権処理については、「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」の第一の柱である「事業再生・中小企業金融の円滑化」の主旨に則り、地域企業の事業再生に積極的に取り組み、再生にかかるコストが増加いたしました。

一方、業務効率化に伴う基礎的収益力の強化、住宅ローン債権の証券化による譲渡益の計上や株式等関係損益などが増加した結果、経常利益は前回予想比 28 億円増加の 73 億円、中間純利益は前回予想比 31 億円増加の 46 億円となる見込みです。

【親和銀行（単体）の平成 18 年 3 月期 中間期業績予想】

（単位：億円）

	前回公表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B)-(A)	17 年 3 月期 中間期実績
業 務 粗 利 益	270	334	64	293
経 費	161	150	▲11	164
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	109	183	74	128
一般貸倒引当金繰入額	—	5	5	▲23
業 務 純 益	109	177	68	152
臨 時 損 益	▲64	▲103	▲39	▲113
うち不良債権処理額	75	148	73	127
経 常 利 益	45	73	28	38
特 別 損 益	▲29	▲12	17	4
中 間 純 利 益	15	46	31	30

(3) 当社（連結）および親和銀行（連結）

主に親和銀行（単体）の業績予想の修正によるものです。

3. 平成 18 年 3 月期通期業績予想

平成 18 年 3 月期通期の業績予想につきましては、中間決算発表時（11 月下旬）にお知らせいたします。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
総合企画グループ 松井・池田
TEL 0956-26-4105